「角度詐欺」をご存知ですか？

大学生の自撮りの経験知を手がかりとした顔写真の印象操作の実験的検討

竹澤智美

(立命館大学人間科学研究所)

キーワード：自撮り，顔の印象，カメラポジションとアングル，角度詐欺

Effect of Empirical Knowledge for Selfie on Facial Impression in Photographs

Tomomi TAKEZAWA

(Institute of Human Sciences, Ritsumeikan Univ.)

Key Words: selfie, facial impression, camera position and angle

SNSの発達で、いまや多くの人が自らの写真を撮る「自撮り」をしており、よりよく写す経験知が蓄積されている。実際に大学生の女性が自撮りの際に工夫していること、その工夫によって期待する効果を調査した結果、カメラアングル(上下の角度)や顔の向きを工夫し、目を大きく、顔は小さく見せ、バランスのよい、フェイスラインのきれいな、かわいい、きれいな顔に写ることを期待していた(竹澤、未公開)。

人物の印象が撮影方法で異なることは誰しも経験的に知っており、アングルにともないかわいさの印象が驚くほど変わる「角度詐欺」も話題となった。写真は光学的法則に従い写るから、アングルによって相対的にカメラに近い部位が大きく、遠い部位が小さく写ることで全体の印象が変わるのであろう。

そこで本実験では、最も一般的な目の高さで水平に正面顔を撮影した写真と比べ、顔を上方または下方から写した場合、目や顔の大きさが違って見えるのか、また撮影方法による顔の印象の変化が目や顔の大きさの見え方によって説明できるのかを検討する。

方 法

実験材料 大学生の女性1名の両眼を結んだ中点を画面の中央とし、デジタルカメラで撮影した。カメラからモデルまでの距離は60cm、焦点距離は35mmフィルム換算で50mmとした。画像はトリミングを施さずにL版相当の大きさでディスプレイに提示した。

実験条件 上下の角度：モデルが前方を向いたときの視線とカメラの視軸の間の角度を、カメラが視線の上方にある場合を正と定義して操作し、-45度、-22.5度、0度、22.5度、45度の5条件とした。**左右の角度**：前方を向いたモデルの視線とカメラの視軸の角度をカメラが右方にある場合を正と定義して操作し、0度、22.5度、45度、67.5度の4条件とした。**目線**：カメラ目線と前方を見る2条件とした。

以上、上下の角度(5条件)×左右の角度(4条件)×目線(2条件)の計40条件のうち重複を除く39枚の写真撮影した。

手続き 39枚の写真のうち、上下の角度・左右の角度とも0度の写真をディスプレイの左方に提示し、この右方にほかの38枚の写真を1枚ずつランダム順序で提示した。参加者は左方の写真で得られる見え方や印象を100として、右方の写真の顔の縦幅、顔の横幅、目の縦幅、目の横幅、バランスがよい、フェイスラインがきれいな、かわいい、きれいな各項目を整数値で答えた。

参加者 大学生51名(男性25名、女性26名；平均20.6歳)の協力を得た。

結 果

左右の角度が0度でカメラ目線の条件の評定値において、総じて上下の角度による大きな変化が見られたため、代表して図1に示した。

顔は、カメラが下方にあるとき大きく、上方にあるとき小さく見え、この傾向は縦幅よりも横幅で顕著であった。目は、カメラが正面にある0度条件に比べ、カメラが下方や上方にあるときに大きく見え、特にカメラが上方45度にあるとき、最も大きく見えた。上下の角度は目の縦幅よりも縦幅に殊に大きく影響した。なお、モデルの目線が前方のときには、上下の角度が大きくなるほど目の縦幅が小さく見えた。

バランスがよい、フェイスラインがきれいな、かわいい、きれいな、上下の角度が大きくなるほど高く評定された。カメラ目線の場合に比べ、目線が前方のときには、「フェイスラインがきれいな」をのぞいて上下の角度の影響が小さかった。

考 察

大学生が自撮りをするとき、カメラアングルや顔の向きを工夫するが(竹澤、未公開)、これらの操作によって目の大きさや顔の大きさが変化して見え、これにともない印象が変化することを確認した。

顔を正面に向けて上方45度のカメラを見つめる写真が、最もかわいい、きれいとして評定された。これは、人物を足元から見上げるように撮影するとき、カメラに近い脚部の像は画面上で長く、遠い頭部の像は小さくなるため、足長、小顔に見え、結果としてかっこいいと評定されるのに似ている(竹澤、2014)。顔を上方から写せば、カメラに近い目は相対的に大きく写り、遠い顎は小さく写る。この結果、目は大きく、フェイスラインがほっそりと見える。さらにカメラ目線のときには自然に目を見開くことになるため、目の縦幅が一層大きく写る。これらのことがかわいい、きれいという印象につながるのであろう。カメラ目線ではなく前方を見た条件では、むしろ上方から写したときに目の縦幅が小さく見えており、このときにはカメラが上方にあっても、かわいい、きれいという印象が得られなかった。このことは、これらの印象に殊に目の大きさが大きく影響することを示している。

引用文献

竹澤智美 (2014). 写真上の人物の身長は撮影方法で変わって見える. 日本心理学会第78回大会発表論文集(電子版).

図1. カメラの上下の角度と顔の印象

竹澤智美 (未公開). 大学生の自撮り実態調査.